PRESS RELEASE

2026 年 8 月 24 日

株式会社 東海理化

# 東海理化のアルコール・インターロック装置が A-HAM・MSA による「共同認証制度」の認証機器に採用

## ～スマートフォンや IoT 機器を活用した飲酒運転防止の仕組みの普及を推進～

株式会社東海理化（本社：愛知県丹羽郡大口町、代表取締役社長：二之夕 裕美）の飲酒運転根絶に向け展開しているアルコール・インターロック装置が、当社が会員として所属する一般社団法人計測健康啓発協会（A-HAM）と一般社団法人モビリティサービス協会（MSA）が新たに開始する「共同認証制度」の認証機器として採用されました。

今回、当社のアルコール・インターロック装置が本共同認証制度の認証機器として採用されたことで、スマートフォンや IoT 機器などを活用した飲酒運転防止の仕組みの普及に貢献します。

当社は、今回のトラック事業者との取り組みを契機として、事業用車両にとどまらず幅広い方々のニーズにお応えできるよう、アルコール・インターロック装置の普及促進に向けた取り組みを引き続き推進してまいります。

※一般社団法人計測健康啓発協会（A-HAM）と一般社団法人モビリティサービス協会（MSA）が開始した「共同認証制度」をはじめ、全日本トラック協会との取り組み内容等についてはこちら【2026/8/19 発表】

### ◆背景とプロジェクト概要

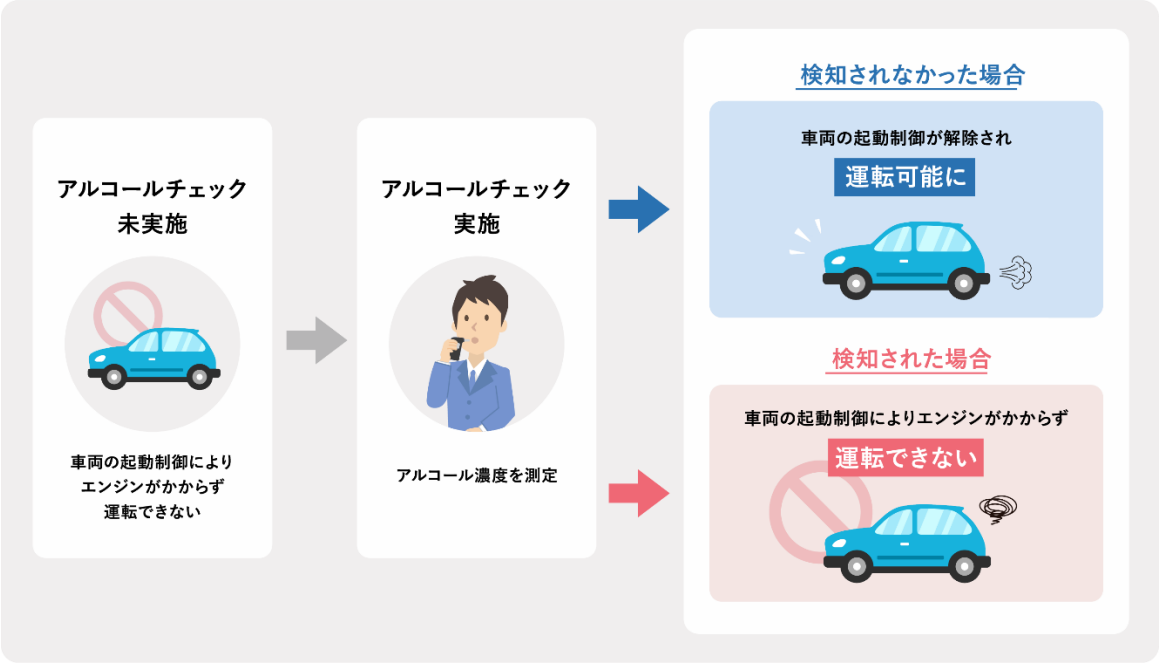
交通安全対策が進む一方、飲酒運転による事故はいまなお発生しています。警察庁によると、令和 7 年中の飲酒運転による交通事故は 2,283 件、死亡事故は 125 件で、飲酒運転の死亡事故率は飲酒なしの場合と比べて約 6.9 倍とされています。

飲酒運転をより確実に未然防止するためには、アルコールの検知・記録に加え、検知結果を車両制御につなげる仕組みが重要です。こうした背景のもと、A-HAM と MSA は、アルコール検知器とアルコール・インターロック装置の連動等を念頭に、新たな共同認証制度の運用を開始します。

また、全日本トラック協会との取り組みとして、アルコール・インターロック装置を実際のトラックに取り付けるモニター調査やセミナーを実施し、実運用上の課題やニーズの把握、普及啓発を進めていく予定です。

**◆アルコール・インターロックとは**

　アルコール・インターロックとは、運転前に検知器で呼気中のアルコール濃度を測定し、基準値以上のアルコールが検知された場合に、車両を始動できないよう制御する装置です。アルコールを「検知する」だけでなく、「車両を運転できない状態にする」ことで、飲酒運転の未然防止を支援します。




アルコール・インターロックの仕組み

**◆東海理化のアルコール・インターロック装置の特長**

　東海理化のアルコール・インターロック装置は、アルコール検知器と車両に取り付けるインターロック装置を分離した構成を採用しています。

認証機器に採用されたアルコール・インターロック装置

これにより、アルコール検知器を車外に設置してアルコールチェックを行うことができ、測定結果を遠隔から確認することが可能です。車両への据え付けを前提とした従来の構成に比べ、スマートフォンや IoT 機器などを活用した、様々な車両利用に即した柔軟な運用を実現します。

また、今後は他社の点呼サービスとの連携を予定しており、アルコールチェックや点呼などの運転前業務をスムーズに行いながら、飲酒運転を物理的に確実に防ぐ環境の提供を目指します。

【会社 URL】

株式会社東海理化：https://www.tokai-rika.co.jp/

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社東海理化 総務部広報室：0587-95-5211